令和7(2025)年3月7日発行　第165号

こびとのおうちえんLetter

3月号

なわとび、大なわとび三昧の2月だった。とべないところからはじまってどんどんとべるようになっていく。急成長すぎてびっくりする。まぶしいわー。特に女の子たちは毎日毎日熱中。けいどうやバナナこおりおにが放り込まれて(人数不足)困るほど。それくらい楽しんでいる。足ボんでて暑くなったちほ うた さゆまは半身ハダカで走りまわってる。そして、川におりては魚や体をぬらしていた。うたが「川の中でなわとびしたらどうなるかな?」って。川の中でもピョンピョン。体もズボンもびしょびしょ。わらったとうぐうさん(1/16)

2月はこんなことしました

- ふきのとうとりさんぽ
- 豆まき、オニさがし
- ふきのとうの天ぷら、ふきみそ作り
- エンの脱走ポイントを見張る
- みつろう ろうそく作り(年長児)
- 上関であそぶ
- オタマジャクシの卵さがし
- おにわで穴ほり
- 天神山で岩あそび
- だこ作り
- 墨でおえかき
- きのこさがし
- やきおにぎり
- ベンチのかかしをみにいく
- 大なわ
- なわとび
- 山たんけん
- 七草さがし
- 七草がゆ作り
- こおりさがし
- 干しいも作り
- 徳山動物園に行く
- せんざい作り
- たこあげ作り
- えのぐでおえかき
- 田布施の町たんけん
- 般若寺のボスちゃんに会いにいく
- 山のすべり台 etc…

お知らせ

- 春休みは、3/28(金)～4/6(日)です。
- 来年度は、4/7(月)スタートです。(10:00～14:00)
- 保護者会を4/13(日)10:00～12:00に開きます。なるべくご都合つけて参加していただけるとうれしいです。よろしくお願いします。

※4/7(月)はじまりの会、4/13(日)保護者会については、後日詳しくおしらせします。

3月のスタッフプラン

・みそ作り　・うどん作り

★今月のおあずびの日は、21日(金)のみです。よろしくおねがいします。

12日(水) 空べんとう箱の日
おあずび自分で作ります！空の弁当箱をもたせて下さい

14日(金) おべんとうの日
白滝山へのぼろう(岩国市美和町)
おべんとうの準備おねがいします。

ユメマート集合解散 9:00発→17:00着予定

たびだちの会

卒園おめでとう。みんな大きくなったね。いてくれてありがとう！
いっぱい笑っていっぱい泣いてどの子の心もカラダも大きくたくましくなりました。
みんなの成長をお祝いしましょう。
そして、たびだつ人を温かくうれしくいってらっしゃい！と送り出しましょう。

3/27(木) 9:30～12:00
9:30～ モーニングミーティング　おえかきー
10:30～ たびだちの会
12:00 お赤飯のおにぎり食べてさようなら!!

3月のペアレンツグループ

18日(火) 13:00～15:00
場所　もみじのいえ
内容「聴く」を通して自分を感じてみよう
※参加の方は、事前におしらせ下さい。当日の朝でもOKです。

_____の様子をおしらせします。

たいがのコーナー

おうちえんで働き始めて、もうすぐ一年が経とうとしています。お会いした方には伝えておりますが、僕はこの一年をもちまして おうちえんを卒業し、日本一周航海に出ます。一年間本当にありがとうございました。

「健やかな子どもたちだな。」その印象で始まったおうちえんでの日々。春、自分のやりたいことを素直に口にする子どもたちの中で、僕も彼らと同じ目線で好きなことを思いっきりさせてもらいました。子どもたちと、各々気になる野草を採ってきては、食べられるものか調べて天麩羅にしてみたり、ニホントカゲを探したり、蜂の巣や百足を揚げたり、シマヘビ、ウシガエルを捌いて食べたり。探して食べてばっかりな気がしますが、たいがらしい、という人はこういうことが好きなこんな人、ということ。子どもたちやスタッフに知ってもらえた貴重な時間になりました。

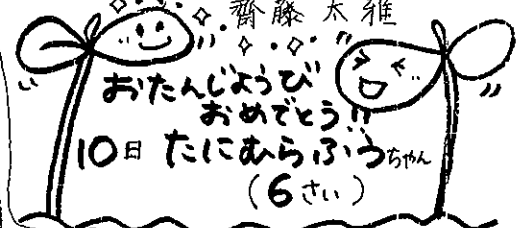
その内に夏が到来し、子どもたちもおうちえんでの生活に慣れ、年少さんも好きなことを見つけて、今の気持ちをありのままに言い出せるようになりました。その時期になると今度は、子どもたちのやりたいことの応援に回ることが増えてきました。水鉄砲と弓矢作りや、泳ぐ練習、モクズガニを獲ってカニシチを作るといったことなどなど…。やりたいことが必ずしも最初からできる訳ではなく、自力で一つ一つ階段を上っていってようやく実現できる。とっかかりとしてや安全な道具の使い方の為に大人が「見せる」ことはあれど、取り組むのはあくまで子ども自身。当たり前にも思えることを真剣に捉え直すと、自分が思ったより彼らのやりたい気持ち、「できるようになるには」に視座が寄っていて、実際の力量にあった関わりが疎かになっていたことに気が付きました。できなくても知らなくても夢中に取り組む時間がこどもたちにはかけがえのないものになる。子どもの今を注意深く見つめ直すと思う関わりを試し振り返るの繰り返しの中で、過不足ない関わりを考えることにとても遣り甲斐を感じました。

そうした関わりを続けていき、今。お互いをよく知り合い子どもたちの間に介入することも減っていきました。一方で、こどもへの眼差しを固定化しないように意識しています。残された時間を思い切り愉しみたいと思います。

おうちえんに出会ったことで、自然に触れて感じることの多さや豊かさを再認識し、自分らしく在ることが、相手のありのままを認めることにつながることを実感しました。このまま保育・教育の世界を深めたい気持ちは、やまやまですが、当初の自分の気持ちに従って、冒険の世界に飛び込んでいきます。先ずは二年かけて瀬戸内海を一周し、一度平生に戻ってくる予定です。

一年しか係れないかもしれなかった僕を受け入れてくださったスタッフ、保護者の皆様、この一年をいっしょに過ごさせてくれてありがとうございました。共に育ち合えたことに感謝です。また二年後にお会いしましょう。

齋藤太雅



ふきのとうとりのさんぽに全員で行った。たくさん出ていてとるのが楽しい♪あの草緑色の鮮やかさは冬に光ってみえる。あみが「ふきのとうはお持って帰らないけど、よっこと一緒にとろう。」と言う。そして、見つけては…取る。かたいからぐるぐるまわして、けんめいに収る。熱中した。「よっこと一緒にお料理したい。明日のお昼ごはんにつけたい。」って。あみの伝え方は、とってもストレートになってきた。り帰ってきて、「あみちゃん、よっこのこと好きになってきた。」と言った。「仲よしになったねぇ。」と言う。良好か。

お昼ごはんのあと、オニが来たら剣でたたかう用の新聞をみんがれめていたら、「あみも作る。」って。そうなん??(朝、あみはオニが来るかもしれないと不安でポロポロ泣いていた。)

そして、けいどうへ。よく走る。ちほとけい。そして守るのも上手。「よっこも一緒にやろう!」と声かけてくる。これもストレート。豆まき。オニはやっぱりこわかったから、泣いた。でも、棒でいっしょにたたいたりもした。後から、あつおオニ(?)が出てきてからは、ゆずきかほもカロわって ぎゃん泣きだった。(2/3)

大なわをまわすふう。まみとぶ。
ふうがまわして100回とんだ。すごいなふう。
うたがまわして40回とんだ。うたが「もうムリー、手いたいー」って。いやー十分でしょー。
かほがまわして30回とんだ。まわすの安定のかほ(2/18)

さゆま みおみ あみ ゆずき とやった妖精ごっこが楽しかった！最初は、みおが「はい、ケーキ」「箱に入ってるよ。」「出して。」と言ったところから、私の心はぐーんとうばわれた。目の前には何もない。でも、それがいかにもあるようで。これこれ!!ないものをあるようにふるまうところ!!がごっこを楽しくするんだ。なわとびのなわで川を作ってとびこえたり、ピクニックといって、バスケゴールの下で、おべんとうを食べたり、「チョコレー」をみおがポケットに入れてて、みんなにくばったりする。ゆずきは、葉っぱのお皿にいろんな草をのせてごはん作ってる。みおがこけた。「手がいたい。」と顔をしかめる。「いたいのいたいのとんでいけー」も「チチンプイの魔法もきかない。それでさゆまに「病院に つれてってくれる?」と言うと、さゆまが手をひいて少しはなれたところに行った。どうするのかなーと見ていたら、さゆまがみおとあかい合ってすわって、手をさすってしばらくじっとしていた。そしたら、2人でり帰ってきたので、「どう?」と聞いたら、みお「もう痛くない。」って。すごいやん!さゆ!!さゆま先生の手当てにより治った!!あみが「あみも いたい。」とありあいたところを見せにくる。するとさゆまもゆずきもみおもよもぎをとってきて当てる。あみの顔がようこんでいる。「どう?」と きくとあみがニヤッとして「もういたくない。」(2/13)

よっこのちょこっとおうちえん日誌　自分のあれこれ～